

会 議 名

令和6年度第1回 生活支援事業連絡会

開催日時	2024年4月17日(水) 14:00~15:50
開催場所	本町暫定第一会議室
参加者	小金井市介護福祉課：木津、菊地原 ひがし包括：金子 にし包括：久野 みなみ包括：河合 きた包括：松村(記録) ※敬称略

議 事 内 容

1. 第1層協議体男性参加者の推薦について

- ・前回連絡会において、「5月の第1層協議体で検討してはどうか」との意見もあったが、推薦いただいた方を含め係内で検討し2名に、ご意見をいただく方として5月の第1層協議体に参加いただくこととした。
- ・みなみ包括より推薦のH氏、ひがし包括より推薦のW氏に依頼することとした。お二方とも当日参加可能とのこと。今後、市より事業の説明を行う。

2. 男性の社会参加の取り組みについて(資料あり)

- ・標記に関して第1層が「市で現在おこなっている取り組み」について別紙のように整理。
- ・この表を補足する形で以下コメントあり。

<応援ブック>

- 3師会への配布開始。にし包括ではさっそく清水医院より応援ブックの追加の問合せあり。
- アプリでのマッチングという案が前回の第1層協議体であった。すでに導入済みの自治体では情報更新に課題ありとのこと。
- 「オンライン通いの場」にさくら体操の動画、会場情報を提供している。会場情報は令和2年度より更新されておらず、現在、厚生労働省の担当者に更新について相談しているところ。

<プレシニア・シニアのための社会参加説明会>

- 八王子市「お父さんお帰りがささいパーティー」、板橋区「50代60代のための地域活動デビュー講座」など、他の自治体でも同様の取り組みを実施している。
- 上記自治体でも、受講後のフォローをどうするかが課題とのこと。地域活動の情報提供をしたところで、自分でまず電話するのがハードル。参加者一人一人へのサポートが必要とのこと。
- 昨年度のタイトルが硬いので、変更を検討中。「介護予防」「フレイル予防」「地域デビュー」といったキーワードを使用する。
- 「意外と知らない介護技術」講座は参加多数であった。「意外と知らない～」というフレーズも使えるのか。
- 「身寄りのない高齢者にならないように」ということを訴えてほしい。(にし包括)

<他課との連携>

- 互いにどのような事業を行っているか把握していないため、似たようなことをやっているところあり。
- 新しいことをやりたくないと考える他課の考え方もあり、課題もある。
- 健康課主催の「男性のみの料理教室」は、各包括がLINEでも周知してくれたが、12名定員のところ申込は8名にとどまった。2名が体調不良でキャンセルしたので、当日の参加者は6名。(その中に翁味会メンバーあり)
- 上記講座には第1層と市も参加し、応援ブックの配布と説明を実施。

<企業との連携>

- 市としては公平・公正を問われる立場にあることから、特定の企業との連携は難しく、特に進展はない。

<その他>

- 埼玉県庁がシニア世代の地域デビューを考えるワークショップを実施。その報告によると、地域デビューの動機と関心には深い関係があるとのこと。
- 地域デビューのタイミングや興味・関心も人それぞれのため、入り口はたくさん必要。応援ブックの情報だけではまだまだ足りないと感じた。

3. ボランティア情報について(資料あり)

- ・応援ブックに掲載していないが、地域デビューのきっかけとして有効と思われるボランティア情報を、

第1層が別紙のように整理。

- ・以下、第1層および出席者より。

○「みどり剪定サークル」が一般家庭へのボランティアができればと思ったが、傷害保険の関係で活動場所は市が管理する公園のみ。

○表にはないが「社協ボランティアセンター」でもボランティア手配の相談は可能。常時マッチングをしているわけではないが、ボランティア希望者の相談を受けたタイミングで問い合わせがあれば、マッチングも可能。

○商工会はボラポの事務局であるが、個別のマッチング機能はない。

○つきみの園にはボランティアコーディネーターが配置されている。(ひがし包括)

○ヨハネ会ではホームでの「洗濯ものたたみ」、「花壇ボランティア」など活発に活動されているが、第2層は参加の経路を把握できていない。イベント開催の機会が多いボランティアセンターにマッチング相談したことがあるが断られたため、それ以降は個別にあたるほか、まちおこし協会に相談に乗ってもらったりしている。(きた包括)

4. 公民館等の連携について

- ・前回連絡会での第2層からの提案を受け、介護福祉課として公民館に電話で問合せ。

・公民館事業としては、公民館の会議室を介護福祉課の事業で使用出来たことで、事業連携が出来ていると考える。「お金の管理の啓発事業」を公民館事業に出来ないかという問い合わせについては、地域住民の方が主として活動できることを重視しているので、地域住民やその他企画実行委員会から複数の声が上がってきてはじめて検討対象とする、といった回答だったとのこと。

5. 活動・会議報告について

- ・第1層協議体の報告内容にもなるので、個人名の記載は避けてほしい。

・第2層協議体の報告は専用の書式で市に提出されているが、協議体の会議資料として出していないため、別紙参照ではなく議題や参加者数など、簡単に構わないので活動内容の報告として記載してほしい。

6. 情報共有

- ・第1層より『わたしの思い手帳』周知用ちらし、『東京住まいの終活ガイドブック』の紹介あり。

・第1層協議体委員変更あり。社協I氏→F氏。

7. お元気サミットについて

- ・歯科医師会がはじめてパネル展で参加する。

・生活支援は11月13日(水)担当の見通し。

・毎回同じような顔ぶれが来場しているのが現状。新たな参加者層をどのように開拓するか。

・現役世代にも参加してほしいが、そもそも平日開催がネック。

⇒昨年度の「お金の管理」に関連して、死後事務、後見制度等の意見あり。次回以降引き続き検討。

社協の古い支度相談、相続などの講座などを活用してほしい。

次回開催予定

生活支援連絡会

2024年5月15日(水)14時～ 於：本町暫定第1会議室

会 議 名

令和6年度第2回 生活支援事業連絡会

開催日時 2024年5月15日(水) 14:00～15:45

開催場所 本町暫定第1会議室

参加者 小金井市介護福祉課：木津氏、菊地原氏、(敬称略)
きた包括：松村氏 みなみ包括：吉田氏 にし包括：久野氏 ひがし包括：金子(記録)

議 事 内 容

1. 第1層協議体男性参加者の推薦の追加について
 - ・2名では少ないとの声をうけ、3名に変更。
 - ・H氏(らくらくサロン代表)・W氏(地域活動に参加)・K氏(さくら体操リーダー)
2. 第1層協議体検討事項について
 - ・サロン連絡会について、課題の壁となっていることについて、課題を掘り下げる。
 - ・プレシニア説明会を更に発展させ、マッチングイベントをお元気サミットで行ってみてはと考える。
→きっかけ作り、いかにきっかけに気付くか・人を呼び込めるかなどを検討する。
 - ・今年度活動目標を簡潔に、3分以内で発表する。
3. 応援ブック配布について
きた包括：繋がっていないところに配布し、イベント等に置いてもらった。
4. お金の管理 パンフレットについて
 - ・補充について、必要となった際には市へ声をかける。
 - ・今年度も印刷にかける。内容変更なし。
 - ・民生委員の配布や民生委員会議にかけないと決定しない。
 - ・LINEでの情報発信も効果的ではないか。
5. 令和6年度応援マップについて
 - ・ブックと併用して使用できる資料として作成する。
 - ・マップ面はそのまま、裏面はボランティア情報や新規団体の情報を掲載する内容に変更。
 - ・応援ブックとの連動、番号を一緒にする。
6. その他
 - ・新規団体「イスでヨガ」：別紙参照、情報共有。
 - ・環境美化サポーター：公園→環境政策課(I職員)、道路→道路管理課(K職員)、必要時に相談を行う。
 - ・スマホ活用講座：申込日に定員16名の申込があり、キャンセル待ち。
→2.3回目以降は初めての方を優先する。
 - ・ちょこっと相談室：サポーター3名、月1回開催。スマホ相談会でありながら、PCやタブレット等の相談がある。前回参加者は18名。
 - ・5/19、減災フェスタ開催予定。
 - ・天神ボッチャの会、4月から包括サポートにより始動する。

次回開催予定 生活支援連絡会 6月19日(水) 14時～

以上

会 議 名	
令和 6 年度 第 3 回 生活支援事業連絡会	
開催日時	2024 年 6 月 19 日 (水) 14:00～16:00
開催場所	本町暫定第 1 会議室
参加者	小金井市介護福祉課：木津氏、菊地原氏（敬称略）きた包括：松村氏 みなみ包括：吉田氏 ひがし包括：金子氏 にし包括：久野（記録）
議 事 内 容	
<p>1. 令和 6 年度応援マップについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原稿の締め切り：10 月末 後日送付されるフォーマットにて市に提出する。 ・納品：1 月～2 月末 <p>2. お元気サミットについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みなみ包括圏域の 4 つのサロンの連絡会にて、通いの場としての PR について考えてもらった（別紙参照） ・今年度は生活支援と介護予防を一体的にやっていくという話が包括支援係で出ている。 さくら体操の実演は行わない。リハ連で介護予防についての講話を行なってもらうことを考えている。 ・日時について 生活支援・介護予防の枠は、11 月 14 日（木）午前中まで（午前 9 時から最大 13 時まで）。 2 日目の 9 時から会場へ入ることが可能。9 時半スタートを予定。 チラシは 9 月早々には配布予定。7 月には内容を決定したい。 ・ミニサロンの体験企画。サロンごとにブースを設けて就活セミナーのようなイメージで、体験会なり PR が できるような形にしていく。そこで、サロン見学の日の予約もできるといい。 ・音楽、手芸などはミニワークショップをやってもいい。ポッチャ、コーラスなどはステージを使用。 圏域にこだわらず、いかにたくさんのジャンルのサロンを呼べるか。 文 化 系：美術、手芸、折り紙、元気会、防災トイレ、サロン、コーラス、睦会、エクセルアート、篆刻、 コピックアート、生け花、ウクレレの会、フラダンス、翁味会 スポーツ系：ポッチャ、モルク、椅子ヨガ、太極拳、健康スタジオ 悠友クラブ ・人をどう呼び込むか。 ⇒・スタンプラリーにして、景品を用意するなど。苗、JA の野菜、キッズダンスなど ・外では配食業者に試食会をしてもらってはどうか。 ・ミニ体力測定会・健康相談 リハ活の先生にも協力してもらえるか？ ・次回、もう少し具体的に内容を詰めていく。 ・「地域活動体験会」のような名前ではなく、それに替わるネーミングを次回までに検討。 ・テーマは「社会参加」と「介護予防」を結びつけたものにする予定。 ・パネル（4 枚）展示：マルチパーパススペースに、周知をしたい団体のチラシをパネルに掲示する。 圏域ごとではなく、ジャンル別にした方がよいのではないか。 チラシを作っていない団体については、展示希望があれば作成してもらう。 （作成する手伝いをする） <p>3. プレシニア・シニアのための社会参加説明会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7 月 10 日 14:00～「健康寿命と地域のつながりとの意外な関係」 現在申込状況は 7 名。もう少し人数がほしいところ。 ・LINE 配信直後に申し込みがあった。再度 LINE 配信をする。 ・LINE からすぐに電話をかけられるように、電話番号を半角入力にする。 ・細井先生に、「社会参加」→「健康寿命が延びる」というような、社会参加のきっかけになるようなお話を していただけるよう依頼中。 	

- ・プレシニアの方たちは、友だちを作りたい等の希望がある。希望の方がいたら第2層コーディネーターとつないでほしい。(早くに包括とつながれるように)

4. 新規立ち上げ支援について

- ・社協のいきいき講座は人気がある(特にウクレレ講座)。
- ・社協としては、連続講座が終わった後に自主グループ化してほしいという目的がある。しかし自主グループを作る支援までできていない。(社協との打ち合わせにより)
- ・これは社協に高齢福祉係から委託されている事業であるため、生活支援コーディネーターではなく、社協の地域福祉コーディネーターが担うほうが適任ではないか。にし包括から社協担当職員に確認をとる。
- ・さくら体操自主完全自主グループ立ち上げ支援についてさくら担当と生活支援COと協力してほしい。

5. お金の管理 啓発について

- ・みなみ包括圏域：老人会で開催してほしいと要請あり。ブギウギ版で6月28日実施予定。
- ・ひがし包括圏域：お金の管理のこと以外も含め、勉強会をしたいと老人会から要請あり。認知症対応についてが主な内容だった。

※R6年度版リーフレットが各包括250部ずつ7月に業者から届く予定。

6. 個別課題抽出については、次回の議題とする。

次回までに資料に目を通しておく。

7. その他

- ・睦会より「応援ブックが高齢者には使いこなせない」という意見をもらった。活動項目が市のホームページからでもわかるような工夫がほしいとの意見もあった。睦会では市内全域の掲示板に、毎月掲示物の交換をしている。そのためか加入者も増えている。
- ・スマホ相談会(東京都事業)(第4火曜日)の情報を包括LINEで配信してほしい。

次回連絡会 7月17日14時から

会 議 名

令和6年度第4回 生活支援事業連絡会

開催日時	2024年7月17日(水) 14:00~16:00
開催場所	本町暫定第一会議室
参加者	小金井市介護福祉課：木津、菊地原 ひがし包括：金子 にし包括：杉山 みなみ包括：河合 きた包括：松村(記録) ※敬称略

議 事 内 容

1. お元気サミットについて (資料あり)

- ・前回の連絡会で提案した内容について、市よりの回答。
⇒スタンプラリーの景品に、苗の配布は数が読めない、また景品が大きすぎるなどの理由で不可。
地域団体の手作り品の配布ができないか。
- ・9時半から30分程度リハ連による講演あり。そのため前日より開場の準備が必要となる見込み。
- ・企画のタイトルは、「レッツ！地域デビュー！！」「(サブタイトルで)セカンドライフをエンジョイしませんか？」など、くだけた表現を使用。
- ・ステージ発表、体験スペース、ブース参加にご協力いただく団体について検討。※()内は交渉担当

宮地楽器ホール 小ホール

<ステージ> (11時から12時くらいの間、各団体10分程度) 6団体程度(順不同)

- 混声合唱団銀の櫛(きた包括)、○ラウレアウクレレクラブ(きた包括)
- 太極拳(一楽庵または静心会)(きた包括)、○三味線・かっぽれ・歌(みなみ包括)
- イスで健康ヨガ体操(みなみ包括)

<体験スペース(スポーツ)>

- ボッチャ(ひがし包括)、○モルック(ひがし包括)、○ターゲットバードゴルフ(きた包括)

<ブース参加(文科系)>

- 美術クラブ(ひがし包括)、○チクチク裁縫の会(ひがし包括)、○棋心同友会(みなみ包括)
- 睦会(囲碁)(きた包括)、○エクセルアート(きた包括)、○篆刻サークル小金井(きた包括)
- コピックアート(きた包括)、○翁味会(料理)(きた包括)
- サロン連絡会(みなみ包括)、○さくら体操自主グループ、○フリースペース

- ・お元気サミットについて、そのなかで生活支援担当として地域活動紹介の場を設けることなどを説明する文書を市で作成。第2層がその文書を持って、上記参加候補先に協力依頼する。
- ・協力を断られた場合、次の候補先を検討する必要があるため、9月の連絡先開催を待たずに、メールで市および各包括に報告・共有する。
- ・八王子市の介護フェスは東京新聞・多摩武蔵野版に告知あり。市からの要望があれば、きた包括より付き合いのある本社編集局次長宛てに掲載依頼をすることは可能。(ただし、編集権は立川支局)

2. プレシニア・シニアのための社会参加説明会について

- ・直前に申し込み増え、23名の参加あり。
- 内訳は50代5名、60代4名、70代8名、80代6名(うち3名常連)
- ・介護予防ボランティア養成講座への申し込み希望、ローレライⅡ、西ノ台カフェへの参加につながった。その他つながりそうなケースあり。スマホサポーター養成講座への応募も2名あり。
- ・管理栄養士の方、栄養ケアステーション新規申請中で地域住民向けに講座を開きたいという方もいた。

3. 個別課題抽出(前回資料提出あり)

- ・前回、第1層より提出された資料について、1層よりコメントあり。
- ・「シニアが通いやすい美容室」など、地域のシニア向けの情報はサロンなどシニアのなかで収集していけるとよい、など。

4. 第2層協議体について

- ・にし包括より、他圏域で開催の2層協議体見学希望あり。定期開催の2層協議体について情報共有。

5. 応援マップについて

- ・入力用フォーマット送付済み。提出〆10月末。

6. その他

- ・社協のいきいき活動講座に参加し、応援ブックを配布。公民館での講座でも配布できるとよい。
- ・朗読劇の全公演を出前講座で使用できるよう、各包括から出演者に了解を取ってほしい。出前講座は生活支援コーディネーター・事業担当者が行う。
- ・お金の管理の啓発チラシについて、令和6年度も昨年度と同様の内容で作成。7月24日に各包括支援センターに250部ずつ配送予定。
- ・8/8（木）、小金井社会福祉士会から出前講座の依頼があり、対応する。どの演目になるかは未定。
- ・スマホサポーター養成講座には19名の応募あり。40代、50代の若い世代からの応募もあった。
- ・介護予防ボランティア養成講座、サブスタッフ養成講座申込受付中。サブスタッフは現状3名の応募。

次回開催予定

生活支援連絡会

2024年9月18日（水）14時～ 於：本町暫定第1会議室